

南小学校閉校行事 ありがとう南小学校



11月30日(土)、南小学校で閉校行事が行われました。在学する小学生はもちろん、保護者や、南小学校を卒業した多くのかたが集まりました。体育館で記念の校歌の録音

を行った後、校庭に出て、校庭に大きな「南」という人文字を作り、上空からドローン撮影を行いました。久しぶりに訪れた皆さんは、最後に懐かしい教室の見学もしました。

南小学校認知症子どもサポーター養成講座 ゆっくり話す 笑顔で話す

11月22日(金)、南小学校の4年生を対象に認知症子どもサポーター養成講座が行われました。講座を聞いた皆さんは、認知症のかたの気持ちを知り、ゆっくり、笑顔で話をするとよいことを学びました。多田亮興さんは、「とても分かりやすかったです。これからは早口にしないで、優しく声をかけたいです」と話してくれました。最後に全員がサポーターの証であるオレンジリングをもらいました。



税 租税教室 税の大切さを学ぶ

12月3日(火)、板倉中学校の3年生を対象に、租税教室が行われました。この教室は毎年、役場や税務署の職員が各小中学校を回って行っているもので、中学生にとっても身近な例をあげながら、分かりやすく説明されました。3年生の大野連さんは「消費税はもともと知っていましたが、そのほかの税のことも知ることができました。大変勉強になりました」と話してくれました。



板倉町民教養講座 笑うが一番

12月14日(土)、中央公民館で、落語家の林家喜久蔵さんを講師に迎え、板倉町民教養講座「喜久蔵流 笑うが一番」が開催されました。前半の講演では、父林家喜久翁さんとのエピソードなどを披露し、後半では古典落語が演じられ、ほぼ満員の会場は、大きな笑いに包まれ、タイトルどおり「笑うが一番」の講座となりました。

東洋大大学院生によるサイエンスカフェ ライフサイエンスを知ろう

12月10日(火)、東洋大学板倉キャンパス図書館アクティブラーニングエリアで、東洋大学の大学院生によるサイエンスカフェが開催されました。合計12人の大学院生が、それぞれの研究分野である「食」「環境」「薬」をテーマに発表を行い、聴講しに来たかたたちと食生活に関するグループ討議も行いました。発表者の一人柴野比勝広さんは「分かりやすく説明するのに苦労しました」とほほえみました。



ママ応援コンサート 歌声をプレゼント

12月11日(水)、板倉町児童館で、ママ応援コンサートが開かれました。12組のお母さんと赤ちゃんが集まり、ゴスペルサークルのキャラメル・ソウルによるクリスマスソングなどを楽しみました。会場に来ていたあるお母さんは「子育てや家事に追われて、外に出るのが面倒になることもあります。こういうイベントがあると出かけるきっかけになり、気晴らしになります」と話してくれました。

